

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3146878号
(U3146878)

(45) 発行日 平成20年12月4日 (2008. 12. 4)

(24) 登録日 平成20年11月12日 (2008. 11. 12)

(51) Int. Cl.

G 0 7 F 9/00 (2006. 01)

F 1

G 0 7 F 9/00

C

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2008-6697 (U2008-6697)
(22) 出願日 平成20年9月24日 (2008. 9. 24)(73) 実用新案権者 508287150
井上 伊三男
東京都新宿区高田馬場1-4-2 1-13
04
(73) 実用新案権者 508287161
中村 昌登
埼玉県さいたま市仲町大宮区3-1 01-
1 マムネット大宮203号 株式会社マ
ネージ内
(74) 代理人 100066290
弁理士 岩田 享完
(74) 代理人 100113804
弁理士 岩田 敏

最終頁に続く

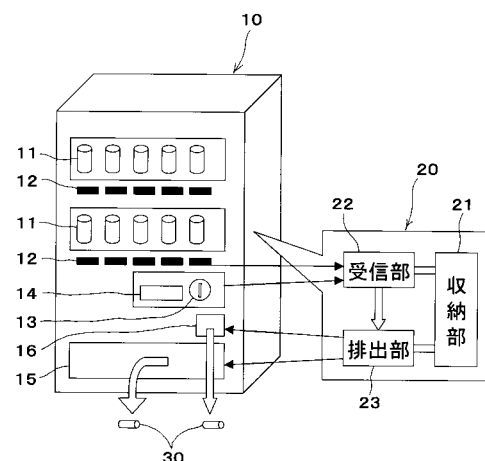
(54) 【考案の名称】 自動販売機用占い・おみくじ装置および占い・おみくじ機能付き自動販売機

(57) 【要約】

【課題】 自動販売機での商品購入者に対して、購入された商品の他にサービスとして占い又はおみくじを提供するものであって、実用性・汎用性（普及性）に優れた自動販売機関連技術を提供することにある。

【解決手段】 自動販売機10は、その内部に占い・おみくじ装置20を備えている。占い・おみくじ装置20は、商品購入者に提供する占い又はおみくじ30の収納された収納部21と、商品購入者により購入商品の選択及び料金の精算終了の信号を受信する受信部22と、受信部22への信号を受けて収納部21へ収納された占い又はおみくじ30を自動販売機10の商品取出口15又はつり銭取出口16へ排出する排出部23とを備えることで、自動販売機10の飲料水11の購入者に対して、購入された飲料水11の他にサービスとして占い又はおみくじ30を提供できる。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

自動販売機での商品購入者に対して、購入された商品の他にサービスとして占い又はおみくじを提供する自動販売機用占い・おみくじ装置であって、
商品購入者に提供する占い又はおみくじの収納された収納部と、
商品購入者により購入商品の選択及び料金の精算終了の信号を受信する受信部と、
受信部への信号を受けて収納部へ収納された占い又はおみくじを自動販売機の商品取出口又はつり銭取出口へ排出する排出部と、
を備えたことを特徴とする自動販売機用占い・おみくじ装置。

【請求項 2】

自動販売機での商品購入者に対して提供する占い又はおみくじを 1 日単位のものとしたことを特徴とする請求項 1 記載の自動販売機用占い・おみくじ装置。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の自動販売機用占い・おみくじ装置を自動販売機内に備えたことを特徴とする占い・おみくじ機能付き自動販売機。

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本願考案は、自動販売機での商品購入者に対して、購入された商品の他にサービスとして占い又はおみくじを提供する自動販売機関連技術に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、「占い又はおみくじ」と「自動販売機」を組み合わせた先行技術としては、以下の様なものがあった。

特許文献 1 には、占い又はおみくじの提供を目的とした自動販売機が開示されている。

特許文献 2 には、自動販売機に新たな機能を付加し、商品の販売促進を図ることを目的として、物品払出し装置の本体に、選択ボタン、制御機、占いカードを 12 種の星座に分けて収容する 12 個のストッカ、選別機、および繰出機を設けて、この物品払出し装置を自動販売機に接続し、自動販売機で商品を購入した利用者が、一定時間のみ選択ボタンを操作できるようにする。利用者が、例えば乙女座の選択ボタンを押すと、選別機により乙女座の占いカードがストッカから取出される。取出された占いカードは、繰出機により排出口から払出される自動販売機が開示されている。

特許文献 3 には、自動販売機の飲料容器（ジュース缶）に占い又はおみくじの記載された占い・おみくじ欄を備えたものが開示されている。

【0003】

【特許文献 1】特開 2003-6735 号公報

【特許文献 2】実用新案登録第 3029085 号公報

【特許文献 3】実開平 1-68575 号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、上記特許文献 1 は、占い又はおみくじの提供を目的とした自動販売機であり、購入された商品（例えば、缶コーヒー・たばこ等）の他にサービスとして占い又はおみくじを提供する自動販売機ではない。

これに対して、上記特許文献 2 は、購入された商品の他にサービスとして星占いカードを提供する自動販売機が開示されているが、装置が大掛かりなものであり（外付装置）、既存の自動販売機に簡単に設置できるものではなく、実用性・汎用性（普及性）に疑問がある。

一方、上記特許文献 3 は、購入された飲料水の容器（ジュース缶）にサービスとして占い又はおみくじを提供する自動販売機が開示されており、飲料容器を変更するだけで容易

10

20

30

40

50

に実現可能なものであるが、くじ・占い文等の表記された飲料容器をわざわざ用意しなければならず、その意味で実用性・汎用性（普及性）に疑問がある。

【０００５】

そこで、本願考案は、自動販売機での商品購入者に対して、購入された商品の他にサービスとして占い又はおみくじを提供するものであって、実用性・汎用性（普及性）に優れた自動販売機関連技術の提供を目的とするものである。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

上記目的を達成するために、第１の考案は、自動販売機での商品購入者に対して、購入された商品の他にサービスとして占い又はおみくじを提供する自動販売機用占い・おみくじ装置であって、商品購入者に提供する占い又はおみくじの収納された収納部と、商品購入者により購入商品の選択及び料金の精算終了の信号を受信する受信部と、受信部への信号を受けて収納部へ収納された占い又はおみくじを自動販売機の商品取出口又はつり銭取出口へ排出する排出部と、を備えたことを特徴とするものである。

第２の考案は、自動販売機での商品購入者に対して提供する占い又はおみくじを１日単位のものとしたことを特徴とする同自動販売機用占い・おみくじ装置である。

第３の考案は、上記第１又は第２の自動販売機用占い・おみくじ装置を自動販売機内に備えたことを特徴とする占い・おみくじ機能付き自動販売機である。

【考案の効果】

【０００７】

本願考案によれば、以下のような効果を有する。

（１）本願考案に係る自動販売機用占い・おみくじ装置は、収納部と受信部と排出部とを備えた極めてシンプルな構造であるため、既存の自動販売機へ簡単に取付可能で実用性・汎用性（普及性）に優れたものにできる。

（２）本願考案に係る自動販売機用占い・おみくじ装置を既存の自動販売機へ取り付けただことで、この占い又はおみくじを目当てにした自動販売機の利用が想定され、自動販売機に対する有力な販売促進手段になる。

（３）特に、自動販売機での商品購入者に対して提供する占い又はおみくじを１日単位のものとしたことで、この占い又はおみくじを目当てに毎日自動販売機を利用する場合が想定され、自動販売機に対する極めて有力な販売促進手段になる。

【考案を実施するための最良の形態】

【０００８】

本願考案の実施形態を図面に基づいて説明する。

図１は、本願考案に係る実施形態を示す概念図である。

図１に示す自動販売機１０は、飲料水１１を販売しているものであり、購入する飲料水を選択する選択ボタン１２と、硬貨投入口１３並びに紙幣投入口１４と、商品取出口１５と、つり銭取出口１６とを備えているごく一般的な自動販売機である。なお、自動販売機１０は、飲料水１１の販売機に限らず、例えば、タバコの自動販売機、酒類の自動販売機等特にその販売品を限定するものではない。また、自動販売機１０には、現金の他にＩＣカード等の電子マネーで決済できる付加機能が付いたものであってもよい。

【０００９】

そして、この自動販売機１０は、その内部に自動販売機用占い・おみくじ装置（以下「占い・おみくじ装置」）２０を備えている。占い・おみくじ装置２０は、商品購入者に提供する占い又はおみくじ３０の収納された収納部２１と、商品購入者により購入商品の選択及び料金の精算終了の信号を受信する受信部２２と、受信部２２への信号を受けて収納部２１へ収納された占い又はおみくじ３０を自動販売機１０の商品取出口１５又はつり銭取出口１６へ排出する排出部２３とを備えることで、自動販売機１０の飲料水１１の購入者に対して、購入された飲料水１１の他にサービスとして占い又はおみくじ３０を提供できる。

【００１０】

占い・おみくじ装置 20 の収納部 21 には、例えば、巻物状や折畳状の占い又はおみくじを収納するとよい。また、同受信部 22 が、飲料水購入者により購入飲料水を選択及び料金の精算終了の信号を受信することで、飲料水購入者に対してのみ確実に占い又はおみくじ 30 を提供できる。さらに、同排出部 23 が、自動販売機 10 の商品取出口 15 又はつり銭取出口 16 へ占い・おみくじ 30 を排出することで、既存の自動販売機をそのまま利用することができる。従って、占い・おみくじ装置 20 は、上記する収納部 21 と受信部 22 と排出部 23 とを備えた極めてシンプルな構造であるため、既存の自動販売機へ簡単に取付可能で実用性・汎用性（普及性）に優れたものにできる。

【0011】

なお、占い・おみくじ装置 20 の受信部 22 は、飲料水購入者により購入飲料水を選択及び料金の精算終了の信号を受信するのではなく、自動販売機 10 が飲料水購入者へ購入飲料水を提供（商品取出口 15 へ排出）した信号を受信するものであってもよい。要するに、受信部 22 は、飲料水購入者が自動販売機 10 から飲料水を購入した情報を受信できればよい。

【0012】

また、占い・おみくじの類は、老若男女問わず人気のコンテンツであり、この占い又はおみくじを目当てにした自動販売機 10 の利用が想定され、自動販売機 10 に対する有力な販売促進手段になる。特に、この占い又はおみくじ 30 を 1 日単位のものとしたことで、この占い又はおみくじを目当てに毎日自動販売機 10 を利用するリピーターが想定され、自動販売機 10 に対する極めて有力な販売促進手段になる。

【産業上の利用可能性】

【0013】

本願考案に係る自動販売機用占い・おみくじ装置は、各種自動販売機の販売促進手段として幅広く利用できるものである。ここで、自動販売機で販売される商品の種類は問わず、また、商品とともに提供される占い・おみくじの内容・種類も問わない。

【図面の簡単な説明】

【0014】

【図 1】本願考案に係る実施形態を示す概念図。

【符号の説明】

【0015】

- 10 自動販売機
- 11 飲料水
- 12 選択ボタン
- 13 硬貨投入口
- 14 紙幣投入口
- 15 商品取出口
- 16 つり銭取出口
- 20 自動販売機用占い・おみくじ装置（占い・おみくじ装置）
- 21 収納部
- 22 受信部
- 23 排出部
- 30 占い又はおみくじ

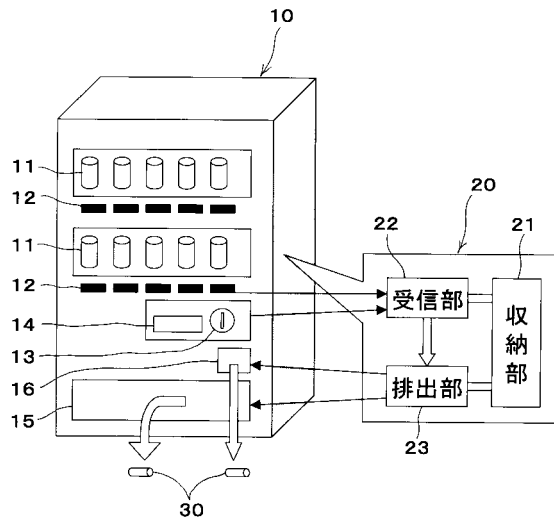
10

20

30

40

【図 1】



フロントページの続き

(72)考案者 井上 伊三男

東京都新宿区高田馬場1-4-2 1-1304

(72)考案者 中村 昌登

埼玉県さいたま市仲町大宮区3-101-1 マムネット大宮203号 株式会社マネージ内